

【昭和池】

昭和9年（1934年）の干ばつを機に、県・国に対して貯水池築造の運動が展開され、昭和14年（1939年）工事に着手、戦争中の物資難の中、昭和19年（1944年）に完成しました。

貯水量は76万トン。池の周辺には、約1,200本の桜の木が植えられており、多くの市民に親しまれています。



昭和池公園

【曽根干潟】

曽根干潟は、市内最大の517haの広さで、みずほPayPayドーム福岡のおよそ30個分にあたります。潮が引くと、沖にある間島まで歩いて渡ることができます。

干潟には、シオマネキや絶滅が心配されているカブトガニなど多くの種類の生きものが暮らしています。

また、世界的にも数が少なくなっているズグロカモメなど、渡り鳥を観察することもできます。



曽根干潟

【長野緑地】

長野緑地は、「自然と人を育む、体験・交流公園」をテーマに、体験学習、健やか交流、環境保全の3つのゾーンを設け、広域交流拠点として整備された公園です。

園内には幼児団体の宿泊や日帰り遠足に利用できる施設「もりのいえ」や子どもたちに大人気の大型コンビネーション遊具、全国最大規模の山城といわれる長野城址などがあります。



長野緑地

【アドベンチャープール】

夏季限定のアドベンチャープールは、波のプールやウォータースライダーなど6つの個性的なプールを備えた、子どもから大人まで楽しめるレジャースポットです。

※スライダープールについては、施設老朽化のため整備中。利用再開時期は未定。



アドベンチャープール

【花農丘公園（総合農事センター）】

平成30年4月から主に公園として利用されている区域については指定管理者制度が導入され、「農業を知り、自然にふれ、市民が笑顔になる公園」として、バラ園や梅園、日本庭園に加え、野外バーベキュー場やドッグランなど、新たな取り組みを行っています。

さらに毎年11月には、北九州市を代表する海の幸、山の幸に加え、鹿児島県南九州市や、岩手県釜石市の特産品が大集合する「農林水産まつり」が開催されます。



花農丘公園（総合農事センター）

【小倉南図書館】

教育委員会が地区図書館として小倉南図書館を整備し、平成30年3月30日に開館しました。

隣接する公園との連続性を活かした図書館レイアウトとなっており、館内だけではなく、屋外でも読書活動が行える多様な読書環境を創出（玄関前テラス・屋上テラス）しています。セミナー室（約100席）は地区図書館では最大です。

○施設概要

- ・敷地面積：約2,400㎡
（若園四丁目公園と小倉南特別支援学校の一部）
- ・延床面積：約2,500㎡
（地上3階建て）
- ・蔵書能力：約25万冊
- ・駐車台数：26台

○管理方法

指定管理（日本施設協会・図書館流通センター共同事業体）

○郷土資料室～藤田哲也博士紹介

地元からの要望により、世界的な気象学の権威である藤田哲也博士を顕彰するコーナーを設置

- ・胸像（藤田哲也博士を顕彰する会 寄贈）
- ・紹介パネル（小倉南区役所製作）
- ・研究資料（遺族寄贈）
- ・関係図書（藤田哲也博士記念会 寄贈）

○郷土資料室～小倉南区の伝統芸能・史跡紹介 （中央図書館製作）



小倉南図書館 正面



藤田哲也博士胸像